

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】平成23年10月13日(2011.10.13)

【公表番号】特表2008-501841(P2008-501841A)
 【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)
 【年通号数】公開・登録公報2008-003
 【出願番号】特願2007-526436(P2007-526436)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 299/04 (2006.01)

H 0 2 K 3/30 (2006.01)

H 0 1 B 3/42 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 299/04

H 0 2 K 3/30

H 0 1 B 3/42 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年8月24日(2011.8.24)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

低粘度の含浸用樹脂配合物において、配合物が、
成分Aとして、アリルエーテル含有不飽和ポリエステル樹脂を50.0～90質量%、
成分Bとして、ジシクロペンタジエン末端基を有する、成分Aとは異なる不飽和ポリエステル樹脂を8.0～40質量%、および
成分Cとして、成分AおよびBによるポリエステル樹脂とは異なる、他の不飽和ポリマーを1.0～20質量%
含有し、かつ、25 で測定して1500mPa s以下の粘度を示す、前記含浸用樹脂配合物。

【請求項2】

さらに硬化剤、促進剤、安定化剤、添加剤および/またはレオロジー助剤を含有する、請求項1に記載の含浸用樹脂配合物。

【請求項3】

成分A中の不飽和ポリエステル樹脂が、トリメチロールプロパンモノ-および/またはトリメチロールプロパンジアリルエーテルおよび/またはペンタエリトリットリアリルエーテルならびにグリコール、ポリオールおよびカルボン酸を含有する、請求項1または2に記載の含浸用樹脂配合物。

【請求項4】

成分B中の不飽和ポリエステル樹脂が、マレイン酸およびジシクロペンタジエン、ならびにグリコール、カルボン酸および不飽和ポリエステル樹脂化学から公知の他の成分の添加によって製造可能なジシクロペンタジエン構造を含有する、請求項1から3までのいずれか1項に記載の含浸用樹脂配合物。

【請求項5】

成分C中の不飽和ポリマーが、二重結合を有する分子を用いて、存在するポリマーを官能化することによって製造可能である、請求項1から4までのいずれか1項に記載の含浸

用樹脂配合物。

【請求項 6】

成分 A、B および C が、ラジカル形成剤の添加によって、熱硬化性成形材料に硬化可能である、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項に記載の含浸用樹脂配合物。

【請求項 7】

電気巻線の含浸のための、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の含浸用樹脂配合物の使用。

【請求項 8】

熱硬化前の浸漬、点滴、漬塗り、流し込み、真空含浸および/または真空プレス含浸による電気巻線の含浸のための、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

UV - 硬化と組合せての熱硬化前の浸漬、点滴、漬塗り、流し込み、真空含浸および/または真空プレス含浸による電気巻線の含浸のための、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 10】

シート状絶縁材料のベース材料を製造するための、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の含浸用塗料配合物の使用。

【請求項 11】

電子機器、ハイブリッド、SMD - モジュールおよび組み立てられたプリント回路基板中のフラットモジュールを被覆するための、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項に記載の含浸用塗料配合物の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

成分 C 中に存在する不飽和ポリマーは、存在するポリマーを、二重結合を有する分子で官能化することによって製造することができ、たとえば、カルボン酸末端ポリアクリレートとグリシジルメタクリレートから成る反応生成物、あるいは、ポリエーテルポリオールと不飽和イソシアネートとの反応生成物である。さらに、ポリマーはビニルエーテル、たとえば種々の分子量を有するポリエチレングリコールジビニルエーテルを使用することができる。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

電気巻線の含浸とは別に、本発明による含浸用樹脂配合物は、さらに、電子機器、ハイブリッド、SMD - モジュールおよび組み立てられたプリント回路基板中のフラットモジュールを被覆するために使用することができるか、あるいは、シート状の絶縁材料のためのベース材料として使用することができる。